

創刊号  
2005年  
秋

# まつかぜ



明治大学校友会  
市川地域支部報

発行：明治大学校友会千葉県西部支部市川地域支部 〒272-0835 市川市中国分 4-13-12 発行人：行木勝雄

## 支部活動と会員の親睦 に役立つような活動を

市川地域支部長 行木勝雄

明治大学校友会は、平成十五年二月二十五日に開催された臨時時代議員総会で会則を全面改正し、都道府県単位で五十四支部と外国二支部を加えて再編、従来の支部を地域支部とする組織改革を行いました。

千葉県は東西の二支部に分れ、市川は松戸、浦安、我孫子、柏、船橋地域支部と共に西部支部に属し、さらに野田、鎌ヶ谷、流山でも結成活動が行われています。市川は昨年十二月十八日会員五十人が参加して、設立準備総会が開かれ結成されました。その後、校友の皆様がつぎつぎに参加され、百六名となってこのほど総会を開催する運びとなりました。

あわせて、広報担当役員のご努力に寄り、会報「まつかぜ」創刊号も発行されました。会報を通じて、支部活動並びに会員相互の親睦状況をご理解いただき、校友の輪を広げ母校への支援と賛助とあわせて地域社会貢献活動の手段としての活用が期待されます。

さて、本年七月二十四日開催の

校友会定時代議員総会で、当地域支部の設立が承認されました。支部旗は、九月十日開催の全国校友愛知大会で授与されますので私が代表して頂いてまいります。

さらに九月四日に開催する第一回定期総会が成功裏に終わることを願っています。



## 市川の発展と会員の 活躍を期待しています

西部支部 支部長 三宅恭雄

このたび、千葉県西部支部市川地域支部会報を発行されますことは、行木支部長をはじめ幹事の方々、校友の皆様のためご尽力の賜物と深く敬意を表すものであります。

西部支部は現在浦安、松戸、柏我孫子、市川、船橋の各地域支部が積極的に活動しており、大学への賛助を基本にしまして、会員の親睦と地域社会への貢献を目標にして努力したいと考えております。今後は校友の多い市川、船橋が中心となってまとめていただきたいと思います。市川地域支部の会員の活躍と支部の発展を大いに期待しています。

## 歴史的な第0回ゴルフコンペが 開かれました

校友会支部活動の一つの柱として校友同志の親睦を深めることがあります。そのことは準備会の打ち合わせ会の席上でもしばしば話題にのぼっていました。

なかでも愛好者の多いゴルフ愛好者の活動が最も早いであろうというウワサがありました。案の定、地域支部発足前に「第0回ゴルフコンペ」が行われ予測が当りました。

四月二十二日、東金市・東千葉CCへ集ったのは行木支部長、長井幹事長ら八人のゴルフアーでした。

好天に恵まれ、和気あいあいのゲームが芝生上で展開された結果高橋一郎君が優勝し、月館光治君が準優勝となりました。以下③佐川、④長井、⑤斉藤、⑥戸倉、⑦行木、⑧高桑（敬称略）の順でした。

見方によってはフライングしたようなゲームでしたが、このことは親睦活動が校友会活動にとっていかに重要なポジションを占めているかを物語る「歴史的」なイベントといえるでしょう。

## あゆみ

平十六年六月二十七日

千葉県西部支部総会（明大アカデミーコモンホール）  
七月十日

市川地域支部設立呼びかけ  
七月十七日

発起人打ち合わせ、設立同意  
書作成、発送  
八月十二日

第一回設立準備打ち合わせ会  
以下五回開催  
九月二十日

西部支部役員と打ち合わせ  
十二月十八日

設立準備総会、勤労福祉センター  
千葉県西部支部長出席、地域  
支部長以下役員選出  
平十七年二月四日

第一回役員会、以下五回開催  
四月二十二日親睦ゴルフコンペ  
（東千葉CC）  
五月 千葉県西部支部だより創  
刊

五月二十八日  
西部支部役員会  
六月四日  
千葉県西部支部総会（明大リ  
バテイーホール）



## 青春は白雲の彼方に

創刊号を発行するに当って、幹事の皆さんに、母校で学んだ頃の思い出を書いていただきました。一回では掲載しきれませんので、このタイトルで連載したいと思っています。会員の皆さんもぜひ「こういう話があるぞ」という話題をお寄せ下さい。

### 心の中の駿河台

阿部 晃 (経営学部・昭和三十四年)

二十歳前後に学んでいた母校で、一、二年は夢中で過ごしていましたが、特に親しくなった学友も居りました。三年生になって駿河台の学び舎を歩くようになり、ニコライ堂や湯島天神の梅見に行つたことなどが思い出の中にあります。

いわゆる「中国ゲーム」で時間の調節がきかない友人のために代返のスリルを味ったり、喫茶店でもよくあんなにも喋ることがあったのかな、と今考えても不思議なくらいです。

卒業以来四十五年を数える年月は駿河台の風景を様変わりさせています。

なんとといっても、新しい校舎がどんどん建ち並び、我々が学んだ校舎・教室がすっかり無くなってしまったこと。あの迷路といわれた記念館講堂と並ぶ本部棟はリバイタタワーとなり、図書館も新しくなりました。大都会の中にある都市型キャンパス大学となった母校を見る時、ますます発展してほしいと願うと同時に、昔の学舎が思い出の中だけにしか存在し

ないことは、残念さと一抹の寂しさを覚えます。

それはまた、家族共ども旅行を楽しんだこともある五十年来の親友を先年亡くしたためでもあり、友の分も長生きしなければと思う今日この頃です。

(経営技術論・山田坂仁教授ゼミ)

### 懐しい和泉校舎

小菅 公(政経学部 昭和三十年)

私は東京下町で生れ幼少時代を過しました。小学校低学年の頃は、まだ戦争は遠くの出来事で、子供たちも野球に関心を持っていました。

当時はプロ野球より大学野球に人気があり、なかでも明治は清水、小玉、長谷川という好投手を揃え、六大学で四連覇を続けていました。ですから子供たちが三角ゴロベースでやる時も、チーム名を明治、早稲田とするなどだったので。

兄に連れられて神田の三者堂へ本を買いに連れていってもらった時、お茶の水駅から駿河台の坂を下ると右手に大きな校舎があり、それが明治大学でした。私は心の中で「大きくなったらこの大学へ入ろう」と思いました。

昭和二十六年に明治を受験し、合格発表板に一一〇六の番号を見つけた時はとても嬉しく今でもその受験番号をしつかり記憶しているほどです。

入学して和泉校舎へ通うと、毎朝、校歌や応援歌「紫紺の歌」が流れていました。しかし毎科目ごとに出欠が取られ、

北島先生の体育実技があったりしますと高校の延長のような気がしました。

校地には野球場があり、放課後に行ってみるとマスコミに登場している有名選手の手練習が見られ、それが楽しみで毎日通いました。

二年生から駿河台へ移りましたが、同じ大学でもこれほど雰囲気が違うものかと驚きました。私にとっては和泉校舎が心のふる里のように懐しく思えます。

(赤倉ゼミ、実務珠算研究部、カメラクラブ)

### 秋山選手と共に追試を

伊神 玲子(商学部・昭和二十七年)

私は女子部三年を終え、学部へ入り、初めて武田先生の簿記に出合いました。「ゼミへ入っているんだから。大丈夫だろう」と高をくくっていたら、みごとに「つけ落ち」となっていました。

これでは先生にもうしわけないと勉強し、追試を受けに行った所、ナンとあの太平洋ホエールズで活躍した秋山選手が居るではありませんか。

これは運が良いかとも思っていたら無事に通ってほっと胸をなでおろしました。それから秋山選手の応援に神宮球場へ通い、せいっぱいエールを送りました。

そんな私が今は建設業界の方々へ簿記をお教える仕事をしています。が、それは、一度や二度の失敗を恐れてはいけないこと、キライを好きに変えるチャンスやきつかけを持つことだと思います。(武田ゼミ)

## 母校の(教育振興協力資金)へぜひ

### お力を

お手元に校友会からのお願いとして「明治大学教育振興協力資金」への協力についての、DMが届いていると思います。

明治大学校友会は、明治十九年に創設され、母校への賛助、支援、親睦等の諸活動を続けて来ましたが、

二〇〇六年が校友会創設一二〇年に当たり記念事業の一環として永年の念願でもあった校友会館(仮称)を総額三十五億円を投じて神田小川町旧小川町校舎跡地に建設することが決まりました。

校友会館は7階建てで延べ床面積は三千二百平方メートルの近代的建物です。校友会では、これを支援するため当面十億円を目標に期限は九月三十日までとして募金活動を行っています。

七月末現在では、総額が一億三千万円を超え、千葉西部では六百六十万円を超えたところです。

私たちもぜひ協力したいと思えます。なお、振込用紙の所属校友会支部らんに「市川地域支部」と必ずご記入下さい。

### パールばるーん

支部活動でゴルフやハイキング、囲碁などの趣味をやりたいの他、「マングラを呼ぼう」という要望も強い。さて第一回総会を終えたらそれが課題のNO.1になるかも(には鳥)